



運動会で自分そして2年団がどう成長するのか

夏休みも終わり、前期後半に入り運動会練習が始まっています。これからは学園運動会、生徒会役員選挙、後期スタートテスト、文化祭、五色台集団宿泊学習、後期中間テスト・・・と主な行事を考えただけでも、次から次へとあります。運動部活動の新人戦もあります。みなさんが部活動の中心となって戦う初めての大きな試合です。何も考えなくても月日は過ぎていきますが、ただなんとなく日々を過ごすより、何か手応えがほしいですね。運動会の取り組みにも目標があると、それが反省や後悔で終わったとしても、次につながる何かになります。サンドイッチに例えると中心の中身の部分になった今、3年生を支え、そして1年生のよい手本とならなければなりません。私が教員となって今まででも、泣いたり笑ったり本当にいろいろな運動会を経験してきました。運動会と聞くと「やった!」と思う人もいれば「苦手だなあ」「不安だなあ」と思う人もいるはずです。運動の得意な人、そうでない人、声が大きく出せる人、朝練習では対抗種目の練習道具を黙って準備・片づけをしてくれる人、早く登校して教室の鍵を開けてくれている人、毎日たくさんのお茶ときれいな体操服を準備してくださるおうちの方など……いろいろな人に支えられて今の自分があります。みなさんは、2年生としてどのように運動会を考えていますか。

私は**119名一人ひとりが学園運動会のために何ができるか**を考えて行動できるチャンスなのが、運動会であり、普段の学校生活以外での119名のよさを運動会の取り組みの中で見つけたいと思っています。どうやってみんなで補い合い、支え合いながらダンスを踊るのか、どうやれば対抗種目がうまくいくのか。私はみんなならきっと先生方の指示ばかりでなく、いつものように笑顔で元気に頑張れると信じています。

人は弱いものでだれでも楽をしたいと考えてしまいがちです。でも「ダンスのリズムが遅れるのは嫌だな」「クラスの種目で勝ちたいな」となぜか矛盾したことも考えてしまうのです。すべてのことが、頑張れば結果もすべて、なんでもうまくいくわけではないけれど、**まずは自分なりに「本気でベストを尽くしてみる」ことが大切です。**

2年団やクラスというのは家族みたいなものです。2年団の先生方は学校のお父さん・お母さんです。おうちの方がみんなのために一生懸命に力を尽くしてくれるのと同じ気持ちです。みなさんと附属坂出中学校で出会ってから一年半、2年生での新しいクラスで半年が来ようとしています。元気でかわいい附坂中2年団ファミリー119名の子どもたち一人ひとりの成長を願っています。

人間一度
こいつをつかまえることには

ああ

本気な恋 本気な仕事

まだ本気になってない証拠だ

変わってこなかったら

自分が変わってくる

世界が変わってくる

本気になる

本気

坂村真民



〈保護者の方々へ〉

運動会の7:30からの早朝練習、放課後の練習へのご協力ありがとうございます。(体調が悪い時はけっして無理をせず、担任までご連絡ください。)また、練習時には水分補給がしっかりできるようご準備ください。(運動会終了まではスポーツドリンクも許可しています。)タオルや汗をかいたときの着替え(体操服か白のTシャツツポイトまで可)、X人Y脚の練習では冬の体操服(ズボン)を着用して練習します。また、暑さ対策のために華美でない帽子の着用も構いません。よろしくお願いします。

9月行事予定が変更になり、運動会予行は**9月11日(火)**になりました。観覧席の椅子の脚のカバーなど準備をしよう。

いじめについて考える



松谷みよ子 文・味戸ケイコ 絵
借成社『わたしのいもうと』の
絵本を使用しました。

8月30日の1時間目に学年団道徳の授業を行いました。
絵本（実話）を使い、いじめについて考えました。本当に
たくさんの意見が出ました。2年団全員が真剣にいじめの問題に向き合っている姿に感心しました。

★学習後に「どんな人になりたいか」という視点で振り返りをしました。

「心のキレイな人になる」

今日の授業では、いじめに関する物語
を読みました。いじめられている人の気
持ちは、いじめている人には分かりませ
ん。相手の気持ちが分からないから、ど
んどんいじめがひどくなっていくと思
います。どんな理由でも、いじめは絶対
にダメです。



「他人の心の傷によりそえるような 人になる」

「わたしのいもうと」を読んで思ったのは、い
じめは絶対だめということもありますが、人の心
の傷に気づくことの大切さです。一人で抱え込み
なくなってしまう、、、自分がされたら嫌なことは
人にしないという気持ちと、嫌なことをされてし
まった人の心の傷によりそえるように私は今より
もっと視野を広げていきたいと思います。

「周りの意見に流されず自分の意見を言える ような人になる」

僕はこの話を聴いて、いじめのつらさがよく分かりまし
た。この話を聴いた後の方が何倍もいじめのつらさに気づ
くことができた。最後に妹が残した手紙を読んで、「普通
のことがしたかった。」とあり、普通のことですえできな



詳しい10月
の予定は9月
末にお知ら
せします。



「人の個性を受け止め、 互いに尊重できるような人になる」

いじめる側の人とは自分と違うところがある
からいじめていることが多いです。でも人は
ひとり一人違います。だからその人の個性を
受け止め、関わっていくことができればい
じめは少なくなると私は思います。人の生きる
権利を奪ってしまういじめ。いじめる側に奪
う権利なんてありません。お互いに尊重し合
えるような関係づくりをしていきたいと思
います。

10月の主な予定

- 3 (水) ⑤⑥CAN32・33
- 4 (木) 第4回選挙管理委員会
- 5 (金) 前期終業式 生徒会立会演説会 英語検定
- 6 (土) 綾坂新人(剣道、野球、ソフトテニス)
- 7 (日) 綾坂新人(野球、ソフトテニス)
- 8 (月) 体育の日
- 9 (火) 運動会振替休業日
- 10 (水) 第3回学習の診断(3年)、テスト発表
- 11 (木) 後期始業式、役員任命、CAN34・35
- 12 (金) 執行部会、第2回常任委員会
- 15 (月) ③④CAN36・37(プレ発表会)、学級協議会
- 18 (木) 部活動中止期間開始(～放課後)
- 19 (金) 朝学習開始、漢字検定
- 20 (土) 市教育文化祭展覧会(東部小)～21(日)
- 22 (月) 全校朝礼(執行部任命)
- 25 (木) 後期スタートテスト1日目
- 26 (金) 後期スタートテスト2日目
- 30 (火) 坂綾中研(午前短縮3時間授業)

